

授業科目名	国際コミュニケーション論	科目コード	G2202L01
英文名	International Communication		

科目区分	観光専攻科目 - コミュニケーション		
------	--------------------	--	--

職名	講師	担当教員名	一井 崇
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>グローバル化の進展とともに、国籍、言語、文化、宗教、人種などの異なる人々の国境を越えた交流が今後更に盛んになる。様々な背景をもつ人々の交流は、文化的差異による反発を生む一方で社会に新たな変化をもたらす契機ともなる。この「新たな気づき」こそ、国際コミュニケーションの面白さ(醍醐味)とも言える。本講座では、「国際コミュニケーション」を「異文化をもつ者同士のコミュニケーション」と位置づけ、様々な角度から異文化理解について考える。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	コミュニケーション	異文化理解	アイデンティティ		
-------	-----------	-------	----------	--	--

到達目標	国際コミュニケーションに必要な基礎知識の取得		
	異文化に対する理解の醸成		
	国際コミュニケーション能力の向上		

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【ガイダンス】 15回の授業の進め方、評価方法について説明する。国際コミュニケーションについてのイントロダクション	
	【予習】特になし	
	【復習】コミュニケーションについて考える。	30分
第2回	【異文化理解とグローバル化】 グローバル化について「ヒト」「モノ」というキーワードから考える。	
	【予習】「ヒト」「モノ」の移動がもたらす影響について考えてみる。	30分
	【復習】「ヒト」「モノ」の移動の今後についてまとめる。	60分
第3回	【異文化理解とグローバル化】 グローバル化について「カネ」「情報」というキーワードから考える。	
	【予習】「カネ」「情報」の移動がもたらす影響について考えてみる。	30分
	【復習】「カネ」「情報」の移動の今後についてまとめる。	60分
第4回	【異文化理解とグローバル化】 「グローバル化とは何か」というテーマで整理する。	
	【予習】グローバル化によって生じた最近のニュースについて調べてみる。	30分
	【復習】グローバル化の課題を乗り越えるための方策について考えてみる。	60分
第5回	【アイデンティティと他者性】 「他者を理解する」というテーマで、アイデンティティについて解説する。	
	【予習】「多様な他者」について考えてみる。	30分
	【復習】アイデンティティとは、どのように形作られるのかについて考えてみる	60分
第6回	【アイデンティティと他者性】 異なる文化的地平(異なる思考や文化的な活動)との出会いがもたらす影響について考える。	
	【予習】異なる文化をもつ人との出会いで思い出に残るエピソードをまとめてみる。	30分
	【復習】身近にいる「異なる文化的地平」と出会ってみる。	60分
第7回	【アイデンティティと他者性 : ゲストスピーカーによる講義】 「多様な文化性に触れる」というキーワードから、海外在住経験者をお招きします。	
	【予習】対象となる国や文化についてあらかじめ調べてみる。	30分
	【復習】印象に残った内容についてまとめる。	60分
第8回	【コミュニケーションと文化的融合 : 空間の認識】 コミュニケーションと空間認識との関連について考える。	
	【予習】対人関係と距離について考えてみる。	30分
	【復習】居場所、境界線などのキーワードについてまとめる。	60分
第9回	【コミュニケーションと文化的融合 : 時間の認識】 コミュニケーションと時間認識との関連について考える。	
	【予習】時間の認識に対して他者との差異を感じたエピソードについて考えてみる。	30分
	【復習】異なる時間の認識が異文化の対立を生み出す要因についてまとめる。	60分

第10回	【コミュニケーションと文化的融合 : 文化の諸類型】 コミュニケーションの前提となる文化的背景について考える。	
	【予習】国際コミュニケーションを考える上で、どんな文化的背景が想定できるか考える。	30分
	【復習】文化的背景の違いによって、コミュニケーションをとる上でどんなことが生じるのかまとめる。	60分
第11回	【コミュニケーションと文化的融合 : 場の形成】 文化的な融合と場(場所、空間)との関係について考察する。	
	【予習】自己のアイデンティティと場(場所)との関係性について考えてみる。	30分
	【復習】場(場所)がいかにアイデンティティの形成に関係しているのか整理する。	60分
第12回	【異質性と向き合う : 「多様性」という言葉のもつ意味】 「多様性」という言葉を理解する。	
	【予習】「多様性」というキーワードで新聞などのトピックから調べてみる。	30分
	【復習】「多様性」という言葉の意味を自分なりに整理してみる。	60分
第13回	【異質性と向き合う : ゲストスピーカーによる講義】 「異質性」というテーマに関連する、ゲストスピーカーをお招きします。	
	【予習】「異質性」に関するトピックについて調べてみる。	30分
	【復習】印象に残った内容についてまとめる。	60分
第14回	【異質性と向き合う : 「コミュニケーションと社会」】 コミュニケーションと社会との関係性について考える。	
	【予習】社会生活の中でのコミュニケーションの意味について考える。	30分
	【復習】社会で生活する上でのコミュニケーションの重要性についてまとめる。	60分
第15回	【まとめ】 コミュニケーションと多様性という言葉の関係について、自分なりの整理してみる。	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>出席・コミュニケーション・ペーパー(Google Formなどによる授業の感想)(60%)、期末課題(40%)により総合的に判断する。</p> <p>ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：15%、社会性：15%、専門性：70%で評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	プリント配布	使用資料 <参考図書>	講義時に適宜紹介します。
授業外学修等	<p>特に課題等を課すことはありませんが、授業を通じて疑問に思ったこと、関心を持ったことなどは主体的に学ぶ習慣を身につけてください。予習、復習を行うことで、授業内容がより深く理解できるようになります。</p>		
授業外質問方法	<p>授業終了後、またはオフィスアワーに対応します。オフィスアワー以外でも、事前にアポイントを取っていただければ時間調整します。</p>		
オフィス・アワー			